

発刊日 平成 29 年 11 月 7 日

奈良体育学会会報

第 81 号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良女子大学 生活環境学部心身健康学科 スポーツ健康科学コース (〒630-8506 奈良市北魚屋西町)

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 井上洋一

秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、平成 29 年度奈良体育学会大会の案内を会員の皆様にお送りいたします。今回のシンポジウムでは、「走る」「跳ぶ」という基本動作に着目し、専門的に分析・研究にかかわってこられた先生方にお話しいただき、その魅力を皆様と一緒に考えてみたいと思います。

また、一般研究発表は 6 題が予定されております。年に 1 度の学会大会ですので、是非とも多くの方々にご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、日本体育学会における本部学会と地域学会組織との在り方も変化があります。奈良体育学会の研究大会や活動、研究発信の仕方など会員の皆様には、今後ともご協力よろしく願いいたします。

平成 29 年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日：平成 29 年 11 月 25 日（土）

会 場：奈良女子大学・生活環境学部 E 棟 1 階 E108, E109 教室（別紙の地図をご参照下さい）

後 援：奈良県教育委員会、奈良県

大会プログラム：

12:15～ 受付（E108, E109 教室前）

12:45～13:15 平成 29 年度奈良体育学会総会（E108）

13:15～14:55 一般発表（E108）

15:10～16:40 公開講演（E108）

17:00～ 懇親会

<一般発表> 13:15～14:45

（発表時間 12 分、討論時間 3 分）

座長 星野聡子（奈良女子大学）

1（13:15～13:30）

上肢のリバウンドジャンプテストは上肢の運動パフォーマンスの評価指標となりえるか？

○寺田和史、正木聡史、吉本貴成、中川辰樹、川上徹、三宅庸平、山本大輔、中谷敏昭（天理大学体育

学部)

キーワード：伸張-短縮サイクル、信頼性、妥当性、砲丸投、若年者

要旨：下肢の運動パフォーマンスを評価する指標として、これまでにリバウンドジャンプ能力（リバウンドジャンプ指数）など考えられているが、上肢のそれについては確立されていない。本研究では、上肢のリバウンドジャンプ動作を用いたテストが、上肢の運動パフォーマンスを評価する手段の一つとなりえるか検討した。

2（13:30～13:45）

高体温時および顔／頭部冷却時における体性感覚認知処理過程の検討

○中田大貴（奈良女子大学）、難波真理（奈良女子大学大学院）、柿木隆介（生理学研究所）、芝崎学（奈良女子大学）

キーワード：暑熱、体性感覚誘発電位、脳血流

要旨：高体温時におけるヒト体性感覚認知処理への影響、ならびに顔／頭部冷却をした際の影響を明らかにするために、体性感覚誘発電位（somatosensory-evoked potentials; SEPs）、血管エコー、VAS を用いて検討することを目的とした。

3（13:45～14:00）

ホワイトノイズが Go/No-go 課題中の事象関連電位に及ぼす影響

○大林和香那（奈良女子大学大学院）、柿木隆介（生理学研究所）、中田大貴（奈良女子大学）

キーワード：ERP、確率共鳴、P300

要旨：適度な大きさのホワイトノイズを聞くことは、認知機能を促進し、脳内のドーパミン分泌に影響を与える可能性があることが示されている。本研究では、Go/No-go 課題における事象関連電位に関するホワイトノイズの効果について明らかにした。

座長 石坂友司（奈良女子大学）

4（14:10～14:25）

暑熱負荷時の認知機能評価

○芝崎学、中田大貴（奈良女子大学）

キーワード：高体温、機能的MRI、認知機能テスト

要旨：認知機能テスト時の脳活動の高体温による影響を空間的に評価するため、機能的磁気共鳴装置を用いて実験した。若年被験者が水循環服による暑熱負荷前後でフランカー課題を実施し、その際の脳活動を評価した。

5（14:25～14:40）

反応様式の違いによる随意的な出力調節のパフォーマンス特性

○大高千明、藤原素子（奈良女子大学）

キーワード：単純反応、選択反応、正確性、素早さ

要旨：本研究では、等尺性肘関節屈曲動作による素早く正確な出力増加および減少時のパフォーマンス特性について、発揮張力を指標とし、視覚刺激に対する反応様式（単純、選択）の違いに着目して検討を行なった。

6（14:40～14:55）

「中学校武道」における銃剣道のもつ文化性についての一考察

○渡邊昌史（武庫川女子大学）

キーワード：伝統、文化、武道指導

要旨：次期学習指導要領の「中学校武道」に銃剣道が明記された。そこで指導の重要性が強調されている「武道の伝統的な行動の仕方」「伝統的な考え方」をめぐって、本発表では、銃剣道のもつ文化性（精神文化）についての考察をおこなう。

公開講演 (E108) 15:10~16:40

テーマ:「走る」「跳ぶ」ことの魅力

趣 旨: 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、各スポーツ競技も盛り上がりを見せています。先日、陸上競技男子 100m 走で、東洋大学の桐生祥秀選手が日本人初の 9 秒台(9.98 秒)をマークし大ニュースになりましたが、100m 走という極めてシンプルな競技にこれだけの注目が集まるのは、人々が「速く走る」ということに、無意識のうちにも憧れを抱いているからではないでしょうか。また、子どもの遊びの多くには、高くあるいは遠くへ「跳ぶ」動作が含まれています。これも、人の、高く遠くへ「跳びたい」ことへの根源的な欲求の現れではないかとも考えられます。

そこで、本シンポジウムでは、走ることや跳ぶことに関する分析・研究に携わっておられる三名のシンポジストをお招きし、走る・跳ぶことに纏わる動きはどのように行われているのか、あるいは、速く走る、遠くへ跳ぶにはどうすればよいかなどの話題をご提供いただき、そこから「走る」「跳ぶ」ことの魅力について再確認していきたいと考えています。

シンポジスト:

大沼勇人先生 (国立スポーツ科学センター)	「速く走るためには？」
小山宏之先生 (京都教育大学)	「より遠くまで跳べる人になりたい」
中田大貴先生 (奈良女子大学)	「生まれつき足が遅い子はいない」

司会・指定討論者: 寺田和史先生 (天理大学)

17:00~ 懇親会 (奈良女子大学 S棟ラウンジ) 会費: 3,000 円

奈良体育学会事務局よりお知らせ

○研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。
学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

締め切り: 平成 30 年 2 月 2 日 (金) 【消印有効】

提出先: 奈良体育学会事務局 (奈良女子大学 中田大貴 宛)

※ CD-ROM などの媒体と (添付ファイル可)、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。
折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

書 式: 用紙 A4、40 字×40 行 一段組、図表ともで 4~6 枚、上下左右の余白を 20mm
(過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

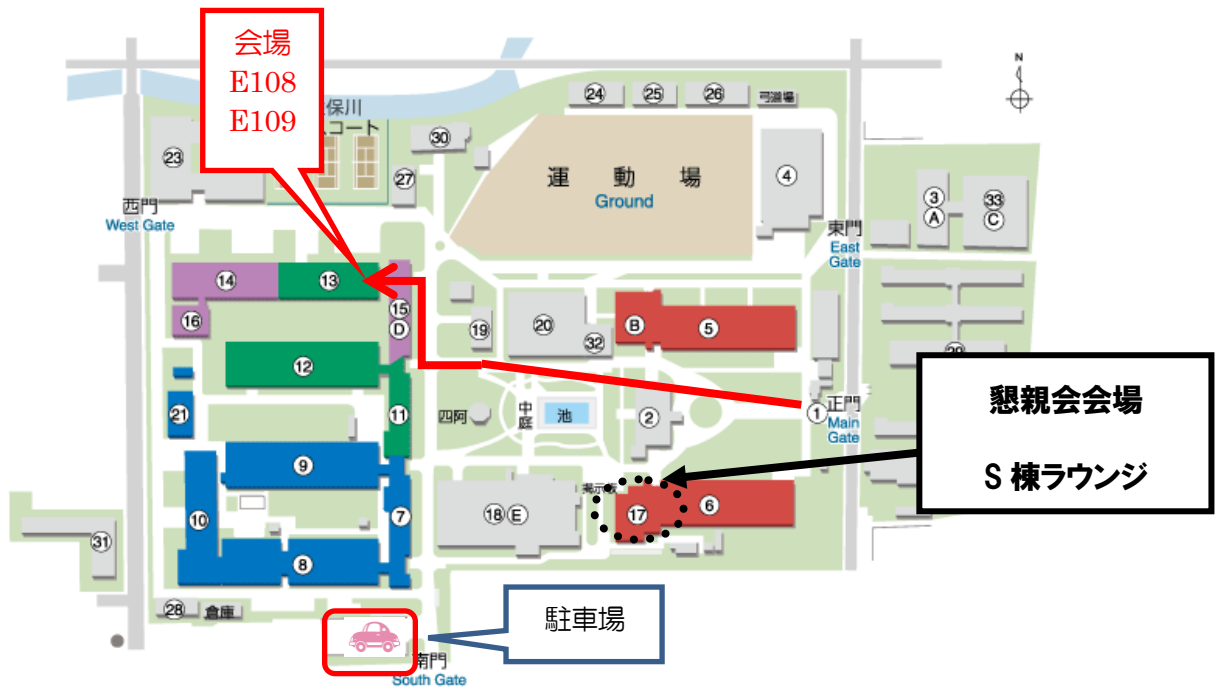
※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。

○日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

平成 29 年度の年会費をお納め下さい。年会費は 1,500 円です。なお、2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169
 加入者名 奈良体育学会

奈良女子大学構内図 自動車の方は東門から、徒歩の方は正門・南門からお入りください。



- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 正門・守衛室 (重要文化財)
Main Gate - Guardroom (Important Cultural Property) ② 記念館 (重要文化財)
Memorial Hall (Important Cultural Property) ③ 本部管理棟
Administration Hall ④ 講堂
Auditorium ⑤ 文学系N棟・国際交流センター
N Hall (Faculty of Letters) International Exchange Center ⑥ 文学系S棟
S Hall (Faculty of Letters) ⑦ 理学系A棟
A Hall (Faculty of Science) ⑧ 理学系B棟
B Hall (Faculty of Science) ⑨ 理学系C棟
C Hall (Faculty of Science) ⑩ 理学部G棟
G Hall (Faculty of Science) ⑪ 生環系A棟
A Hall (Faculty of Human Life and Environment) ⑫ 生環系D棟
D Hall (Faculty of Human Life and Environment) ⑬ 生環系E棟
E Hall (Faculty of Human Life and Environment) ⑭ 大学院E棟
E Hall (Graduate School of Humanities and Sciences) ⑮ 大学院F棟
F Hall (Graduate School of Humanities and Sciences) ⑯ 総合研究棟H棟・臨床心理相談センター
H Hall (Integrated Projects Research Center for Clinical Psychology) | <ul style="list-style-type: none"> ⑰ 大学ラウンジ
Lounge ⑱ 学術情報センター
Academic Information Center ⑲ 保健管理センター
Health Care Center ⑳ 大学会館
University Union ㉑ R・I 総合実験室
Radioscope Laboratory ㉒ 第1体育館
First Gymnasium ㉓ 第2体育館
Second Gymnasium ㉔ 文化系サークル共用施設
Club House ㉕ 音楽棟
Music Hall ㉖ 課外活動サークル施設
Facilities for Extracurricular Activities ㉗ 合宿所
Training Camp House ㉘ 埋蔵文化財調査室
Archaeology Research ㉙ 寄居寮・国際学生宿舎
Dormitory/International Student House ㉚ 佐保会館 (同窓会)
Alumnae Hall ㉛ 国際交流会館
International House ㉜ 国際交流プラザ
International Plaza ㉝ コラボレーションセンター・共生科学研究センター
Collaboration Center KYOUSEI Science Center for Life and Nature | <ul style="list-style-type: none"> Ⓐ 総務・企画課、財務課、施設企画課
General Affairs and Planning Division, Financial Affairs, Facility Planning Division Ⓑ 国際課
International Division Ⓒ 研究協力課
Research Cooperation Division Ⓓ 学生センター
Center for Student Services
学務課 (2階) Educational Affairs Division
学生生活課、入試課 (1階) Student Support Division, Entrance Examination Division Ⓔ 学術情報課
Library and Information Division |
|---|--|---|